株式会社黒壁

株式会社黒壁

1　法人基本情報（令和5年4月1日現在）

所在地	〒526-0059　滋賀県長浜市元浜町12番38号				
代表者	代表取締役社長　田中猛士		設立年月日	昭和63年4月11日	
電話番号	0749-65-2330		FAX番号	0749-65-2333	
ホームページアドレス	https://www.kurokabe.co.jp				
設立目的	古い建造物の保存運動に端をなし、長浜の「歴史性」、「国際性」及び「文化芸術性」を高めるガラス工芸を中核とした中心市街地の活性化を目的とする。				
資本金	540,000千円	市出資額	190,000千円	市出資割合	35.2%
所管課	産業観光部 商工振興課				

2　役職員の状況（令和5年3月31日現在）

（人）

		理事・取締役	監事・監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
役員	常勤	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤	6	2	8	0	0	1	7
	計	6	2	8	0	0	1	7
職員	正規職員			31	31	0	0	0
	臨時職員			0	0	0	0	0
	パート職員等			33	33	0	0	0
	計			64	64	0	0	0

3　主な事業内容（令和4年度）

①国内ガラス工芸品の展示販売
②海外アートガラス輸入、蒐集、展示販売
③ガラス工房運営、オリジナルガラス制作販売
④食堂喫茶の運営
⑤ガラス文化に関する調査研究、イベントの企画運営
⑥まちづくり文化に関する情報、資料収集、提供
⑦国際交流に関する業務
⑧旅行業
⑨酒類販売
⑩ＥＣ事業

4　財務状況

(1)　貸借対照表

（千円）

項目		令和3年3月31日現在	令和4年3月31日現在	令和5年3月31日現在
資産		979,398	894,144	913,449
	流動資産	237,391	168,128	200,223
	固定資産	740,849	725,462	713,226
	繰延資産	1,158	554	0
負債		880,682	860,344	883,755
	(うち有利子負債)	(779,859)	(775,069)	(768,569)
	流動負債	169,497	156,835	153,595
	固定負債	711,186	703,509	730,160
純資産		98,716	33,800	29,694
	資本金	540,000	540,000	540,000
	利益剰余金	▲441,284	▲506,200	▲510,306

(2) 損益計算書 （千円）

項目	令和2年度 (R2.4.1-R3.3.31)	令和3年度 (R3.4.1-R4.3.31)	令和4年度 (R4.4.1-R5.3.31)
営業収益（売上高）	339,634	366,839	496,217
営業費用	468,262	436,045	500,147
売上原価	240,179	222,076	274,632
販売費・一般管理費	228,083	213,968	225,515
営業利益	▲128,628	▲69,205	▲3,931
営業外収益	35,355	17,371	12,852
営業外費用	13,626	12,518	12,488
経常利益	▲106,900	▲64,352	▲3,567
特別利益	91,300	0	5
特別損失	44,877	0	0
税引前当期利益	▲60,477	▲64,352	▲3,561
法人税等	545	564	545
当期純利益	▲61,022	▲64,916	▲4,106

5 市の関与の状況

(1) 公的支援（フロー） （千円）

項目			金額			備考 （目的、内容、算出根拠等）
			R2年度	R3年度	R4年度	
①	補助金 (助成金･交付金)	運営補助	550	0	0	
		事業補助	98,440	0	9,209	新時代開拓支援事業補助金 社会実験事業負担金
②	利子補給金		0	0	0	
③	税の減免額		0	0	0	
④	その他　（　　）		0	0	0	
小計			98,990	0	9,209	－
⑤	損失補償契約に伴う金利軽減額		0	0	0	
⑥	出資金､低利貸付等に伴う機会費用		0	0	0	
小計			0	0	0	－
合計			98,990	0	9,209	－

（参考）委託料	0	0	0	

(2) 公的支援（ストック） （千円）

項目		金額			備考 （目的、内容、算出根拠等）
		R2年度	R3年度	R4年度	
①	損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
②	貸付金残高	0	0	0	
③	出資金	190,000	190,000	190,000	市保有株式
小計		190,000	190,000	190,000	－

6 地方公共団体による点検評価の結果

経営状況についての 予備的診断における評価	B	A：経営努力を行いつつ事業は継続　B：事業内容の見直し等による積極的な経営改善が必要　C：深刻な経営難の状況にあり経営の観点からは事業の存廃も含めた検討が必要
コメント	新型コロナの影響で低迷していた来街者数の回復に伴い、売上高も上昇したが、物価高騰の影響など営業費用の増大もあり、4期連続の赤字決算となった。金融機関などの関係機関を含めた継続的な経営改善が必要である。	

7 その他の特記事項

８　事業計画（令和5年度）

パーパス（企業の存在意義）
　ガラス事業を通して、地域社会の持続可能な発展に寄与するまちづくり企業

ビジョン（目指す先）
　日本初の良質なレトロおしゃれガラスブランドになる

ミッション（すべきこと）
　文化的深みがある場所・体験・製品を、おしゃれに親しみやすくする「上質な文化体験・文化製品市場の創造」

バリュー（お客様への提供価値）
　「心の彩り」- Good Glass, Good Life -

経営基本方針
　●ビジョンと利益を高めること
　●バリューチェーン構築による生存戦略とマーケティング戦略の両輪

第36期（令和5年度）　株式会社黒壁　予算概要

収入区分	内　　容	見込額
ガラス事業	体験教室受講料、工房作品、ガラス製品売上	305,072千円
飲食事業	カフェ売上	44,536千円
物販事業	物産、ギフト商品販売、駐車場等売上	200,743千円
合　　計		550,351千円

事業区分	事業内容	事業費
ガラス事業	体験教室受講料、工房作品、ガラス製品売上	247,288千円
飲食事業	カフェ売上	36,030千円
物販事業	物産、ギフト商品販売、駐車場等売上	261,688千円
合　　計		545,006千円

収支差額　　5,345　千円